

ノートルダム清心女子大学 2025年度計画

(2025年4月1日)

大項目 (学園共通目標)	中期 連番	中項目 = 中期計画の実行項目 (全32項目)	到達目標 (目指す状態)	2025年度計画	担当組織 (関係組織) ※筆頭: 事務主管部署	実施責任者/補佐
(1) 建学の精神、 教育理念の浸透 の促進	1	<p>・本学のアイデンティティの再確認と維持・強化による社会的価値の向上 ※関連: 大項目(2)~(8)の全計画(取組)</p>	<p>・本学の理念が十分に理解・浸透しており教職員や学生の活動・行動に表れている状態 (各種活動の状況・成果、各種アンケート等により確認する) ・アイデンティティの再確認と諸活動の検証・改善においては、学内外のステークホルダーの意見も踏まえ、ステークホルダーからの理解を得られるよう適切な説明責任を果たし、良好かつ持続的な信頼関係を構築している</p>	<p>・中期計画の各取組を通じた建学の精神、教育理念の浸透 ※中期計画の実施状況の点検等により理念等の浸透に係る現状・課題を確認する (関連: 連番28)</p>	<p>学長室 キリスト教文化研究所 広報室アーカイブ 他全組織 (法人/他の学園校)</p>	<p>学長 副学長(教学・情報教育推進) 副学長(経営・研究推進) 副学長(国際交流) /キリスト教文化研究所長 /他全組織長</p>
	2	<p>・学修者本位の教育の実現に資する教学マネジメントの確立と推進 (PDCA) ※関連: 連番1・5</p>	<p>・学生のDP到達度を学生や大学が把握することが可能である状態。 ※卒業時に限らず学修過程(学期末等)においても到達度を把握できる</p>	<p>・教学マネジメントの現状把握 (チェックシート導入) と実質化に向けた課題協議の場 (現行「ポリシー策定委員会」) の検証</p>	<p>学務部 各学部学科・大学院各研究科 英語教育センター キリスト教文化研究所 インクルーシブ教育研究センター (全学共通科目委員会)(諸課程) 地域連携・SDGs推進センター 国際交流センター キャリアサポートセンター 情報教育支援センター 学長室IRセンター</p>	<p>副学長(教学・情報教育推進) 各学部長 各研究科長 /学務部長 /他教学系組織長</p>

大項目 (学園共通目標)	中期 連番	中項目 = 中期計画の実行項目 (全32項目)	到達目標 (目指す状態)	2025年度計画	担当組織 (関係組織) ※筆頭: 事務主管部署	実施責任者/補佐
(2) 教育・研究の質 の向上 (大学: 国際交流、社会 連携を含む)	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>学部(研究科)・学科(専攻)を超えた(横断的)教育プログラムの体系化</li> <li>※関連: 連番1</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全学として保証する教育成果を踏まえて体系化された全学共通教育プログラムによる成果が確認されている状態。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別に行われている各学科教育内容の全学又は学部横断化に向けた検討</li> </ul>	学務部 (全学共通科目委員会) 各学部学科・大学院各研究科 キャリアサポートセンター 情報教育支援センター 地域連携・SDGs推進センター キリスト教文化研究所 インクルーシブ教育研究センター 英語教育センター 国際交流センター 産学連携センター 学長室IRセンター	副学長(教学・情報教育推進) 副学長(国際交流) /学務部長 他教学系組織長
(2) - 1 教育の質の向上	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>グローバル人材の育成</li> <li>※関連: 連番1・3</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際交流の機会率(*)の向上 * 在学中を通じて国際交流プログラム(国内外を問わず一度でも)参加した学生の割合 (後掲: 連番15)</li> <li>国際交流が実質化しておりグローバル人材の育成・輩出に貢献している状態 (後掲: 連番15)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際交流機会の充実に係る各種取組の推進と効果検証</li> </ul>	国際交流センター 各学部学科(大学院各研究科) 英語教育センター 学務部 キャリアサポートセンター (全学共通科目委員会) (日本語教員養成課程)	副学長(国際交流) 副学長(教学・情報教育推進) /国際交流センター長 /英語教育センター長 /学務部長

大項目 (学園共通目標)	中期 連番	中項目 = 中期計画の実行項目 (全32項目)	到達目標 (目指す状態)	2025年度計画	担当組織 (関係組織) ※筆頭: 事務主管部署	実施責任者/補佐
	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の活性化につながる組織的な取組の推進</li> </ul> ※関連: 連番2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・FD活動をはじめとした組織的な教育改善活動が実質化しており教育力向上と教育改善に十分に寄与している状態。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・FD活性化による教育力向上と教育改善状況の共有 (後掲: 連番31)</li> </ul>	学務部 (FD等推進委員会/大学院FD推進委員会) 各学部学科 大学院各研究科 英語教育センター) 情報教育支援センター キャリアサポートセンター 学長室IRセンター	副学長(教学・情報教育推進) FD等推進委員長 /学務部長 /情報教育支援センター長
	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生の学修や大学が行う教育・研究を支える</li> </ul> 学術情報基盤の充実 ※関連: 連番1・2・17	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新学部の完成年度 (2027年度) における図書の充実・整備</li> <li>・中期的な計画に基づいた蔵書の構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・附属図書館における学修環境の充実</li> <li>・利用実態の把握方法の検討</li> <li>・中期的な蔵書管理計画の立案に向けた課題整理</li> </ul>	附属図書館 情報教育支援センター 各学部学科 大学院研究科 総務部(科研・助成金関連) 学務部	附属図書館長

大項目 (学園共通目標)	中期 連番	中項目＝中期計画の実行項目（全32項目）	到達目標 (目指す状態)	2025年度計画	担当組織（関係組織） ※筆頭：事務主管部署	実施責任者/補佐
(2) - 2 研究活動の活性化	7	・全学的な研究力向上のための立案と実行 ※研究推進（外部研究費の獲得推進含む）に資する適切・効果的な研究支援(環境/研究費等)の在り方検討・運用 ※関連：連番1・8・9・16・25・26・27	・研究業績の公表（英語版含む）100% ・教員・大学院生・学生の教育研究成果の発表の場を本学独自・他大学・他機関の連携を図りながら創出している	・研究及び研究支援に関する方針を検討する会議体の設置検討 ・学外助成、共同研究、受託研究、奨学寄附金等に係る情報提供 ・産学官連携等を推進するコーディネータの配置検討	産学連携センター 総務部(科研・助成金関連) (法人)	副学長(経営・研究推進) /産学連携センター長
	8	・特色ある研究分野（分野横断による学内共同研究等）の強化促進 ※関連：連番1・7・27	・学内共同研究をととして教員の研究意欲・能力が発揮されている状態 ・特色ある研究分野の研究の強化が本学のブランディングにも寄与している状態	・学内助成・学長裁量経費を利用した分野横断研究の実施	産学連携センター 総務部(科研・助成金関連)	副学長(経営・研究推進) /産学連携センター長
	9	・外部研究費獲得の推進 ※関連：連番7・8・25	・外部研究費の獲得について現状維持以上を目指し、検討会議等で方針を定めた数値目標に到達	・外部研究費獲得の推進に向けた現状把握と課題整理	産学連携センター 総務部(科研・助成金関連) 各研究所・センター(研究実施)	副学長(経営・研究推進) /産学連携センター長
	10	・大学院教育の充実 ※研究者養成/キャリアアップの視点 ※関連：連番1・7・23	・大学院の進学率向上を軸とした定員充足率向上 ・大学院生の研究倫理教育の受講率100%	大学院生のキャリア意識の現状把握と課題整理、及びキャリアサポートセンターによるM1向けの就活セミナーの実施	学務部 大学院各研究科 各学部学科 キャリアサポートセンター 総務部(科研・助成金関連) (入試広報部)	副学長(教学・情報教育推進) 副学長(経営・研究推進) /各研究科長 /学務部長
	11	・学術研究活動を支える知の拠点としての貢献 ※関連：連番1・7・12・17・26	・(再掲：連番6) 新学部の完成年度(2027年度)における図書の実質・整備 ・(再掲：連番6) 中期的に渡る計画に基づいた蔵書管理ができてきている状態 ・地域・社会においても貢献できる知の拠点となるための課題対応が進んでいる状態	・相互利用サービスによる研究活動に必要な資料提供の充実 ・リポジトリ掲載論文の拡充に向けた働きかけの強化 ・(再掲：連番6) 中期的な蔵書管理計画の立案に向けた課題整理 ・各研究所・センターによる研究活動の活性化	附属図書館 各学部学科 大学院各研究科 総務部(科研・助成金関連) 他各研究所・センター 施設企画管理部	副学長(経営・研究推進) 附属図書館長 /産学連携センター長 /地域連携・SDGs推進センター長

大項目 (学園共通目標)	中期 連番	中項目＝中期計画の実行項目（全32項目）	到達目標 (目指す状態)	2025年度計画	担当組織（関係組織） ※筆頭：事務主管部署	実施責任者/補佐
(2) - 3 社会連携・社会 貢献活動の推進	12	・教育資源を還元する社会連携・社会貢献の学内方針に沿った計画の立案と実行 ※経営方針にも沿った形での実施計画の立案と実行 ※関連：連番1・13・26	・社会連携・社会貢献全般に係る実行計画が立案され進捗管理のもと成果を出している状態	・社会連携・国際交流を推進する連携協議の場の創設と連携方針の検討 ・社会連携・社会貢献の基本方針（生涯学習の方針を含む）の見直し検討 ・コーディネータの配置計画検討 ・産官学連携を総合的に推進するための3センター統合の本格的検討	地域連携・SDGs推進センター 産学連携センター 生涯学習センター 国際交流センター 他各研究所・センター	副学長(国際交流) /地域連携・SDGs 推進センター長 /産学連携セン ター長
	13	・学外組織との共創的連携の拡大・進展 ※関連：連番1・3・12・20・26 (参考)共創：共創とは、企業があらゆる利害関係者（ステークホルダー）と協働しながら事業を行い、新たな価値を創造することを意味する言葉。英語では「co-creation」	・企業・大学(学校)・自治体・各種団体等との連携・協働を推進し、新たな価値を創造している	・(再掲：連番12)・社会連携・国際交流を推進する連携協議の場の創設と連携方針の検討 ・企業・自治体・各種団体等との連携・協働の推進 ・中学生以下を対象とした企画についての検討と試行的実施 ・社会連携・貢献の基本について学ぶ機会、及びその学びを生かすPBLの機会の学生への提供	地域連携・SDGs推進センター 産学連携センター 生涯学習センター 国際交流センター 入試広報部 他各研究所・センター	副学長(国際交流) 副学長(教学・情 報教育推進) /地域連携・SDGs 推進センター長 /産学連携セン ター長
	14	・社会貢献・地域連携機会の充実と参加学生への支援充実(体制整備)による正課外教育の推進 ※関連：連番1・3・12・23・24・26	・(再掲：連番7) 教員・大学院生・学生の教育研究成果の発表の場を本学独自・他大学・他機関の連携を図りながら創出している ・上記の場がHUBとなり、学内的には教員・学生の社会連携活動が活性化し、さらなる研究成果を生むとともに、学生のキャリア形成の向上にもつながり、卒業後に地域社会に貢献する人材育成に寄与する状態 ・学外的には地域社会にイノベーション起こすことで地域社会の活性化に貢献できている	・社会連携・国際交流を推進する会議体の設置検討 ・生涯学習センターの位置づけ確認・方針見直し ・地域への知の還元（教育研究成果の還元）及び卒業生支援を兼ねたりカレント教育・リスキリングの可能性の検討 ・教員・大学院生・学部生の研究成果公表の場の創出検討	地域連携・SDGs推進センター 産学連携センター 生涯学習センター 国際交流センター 各学部学科 学務部(学生)	副学長(国際交流) 副学長(教学・情 報教育推進) /地域連携・SDGs 推進センター長

大項目 (学園共通目標)	中期 連番	中項目 = 中期計画の実行項目 (全32項目)	到達目標 (目指す状態)	2025年度計画	担当組織 (関係組織) ※筆頭: 事務主管部署	実施責任者/補佐
	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際交流の推進</li> </ul> ※関連: 連番1・12・17・26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本学に対するグローバルイメージが十分に地域に浸透している状態 (関連: 連番1・27)</li> <li>・ (再掲: 連番4) 国際交流の機会率(*)の向上</li> <li>* 在学中を通じて国際交流プログラム(国内外を問わず一度でも)参加した学生の割合</li> <li>・ (再掲: 連番4) 国際交流が実質化しておりグローバル人材の育成・輩出に貢献している状態</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交流の実質化に向けた各種国際交流活動の活性化と成果検証による改善</li> </ul>	国際交流センター 地域連携・SDGs推進センター キリスト教文化研究所 英語教育センター 施設企画管理部 学務部 (学長室)	副学長(国際交流) /国際交流センター長
	16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域社会に貢献する各種講座等の推進と同窓会との連携強化</li> </ul> ※関連: 連番1・12・26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生涯学習センターが地域への本学教育資源の還元の間となり、地域のリカレント教育、リスキリングに貢献する。卒業生支援にも貢献。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各種公開講座の企画・推進</li> <li>・ 具体的な卒業生支援及び同窓会からの業務サポートの可能性を探る</li> </ul>	地域連携・SDGs推進センター 生涯学習センター 学長室 総務部 学務部 キャリアサポートセンター	副学長(国際交流) 副学長(経営・研究推進) 副学長(教学・情報教育推進) /地域連携・SDGs推進センター長

大項目 (学園共通目標)	中期 連番	中項目＝中期計画の実行項目（全32項目）	到達目標 (目指す状態)	2025年度計画	担当組織（関係組織） ※筆頭：事務主管部署	実施責任者/補佐	
(3) 教育・研究環境 の充実	17	・学修者本位の教育を実現するキャンパスマスタープランの策定と運用 ※関連：連番1・6・11・15・21・24・25・27・32	・中長期的なキャンパスマスタープランのもと、学修意欲や快適性の向上をはじめ本学のアイデンティティを継承していくためのキャンパス環境が維持向上している状態。	・施設の老朽化・狭隘化に対応するための計画的な建物調査の実施 ・中長期的な施設整備を協議する場の設置検討 ・学修意欲や快適性の向上に資するキャンパス整備の推進 ・中長期の視点に立った学外施設の今後のあり方（整備方針含む）の方向付け	施設企画管理部 学務部(教務/学生) 附属図書館 情報教育支援センター 総務部(財務) 学長室 (学長室IRセンター) (法人)	副学長(経営・研究推進)	
	(4) 入学生の安定的な確保	18	・学生募集戦略に基づく入試の実践（PDCA） ※関連：連番2	・安定的な定員充足 ・入学後の学修状況・教育成果も加味した学生募集戦略に基づく入試の実施	・中期的な視点による学生募集戦略の立案	入試広報部 各学部学科 (学務部) (キャリアサポートセンター) (学長室IRセンター)	副学長(教学・情報教育推進) 副学長(経営・研究推進)
		19	・効果的な学生募集活動の実践（PDCA）とアドミッション・オフィス機能の整備・推進 ※教育需要の把握・情報収集⇒教育資源の還元・提供⇒志願者開拓/個々への進路選択支援 ※関連：連番1・18・20・26・27	・学生募集戦略の実践(PDCA)成果が学内で共有されている	・効果的な学生募集活動の実践と効果検証 ・アドミッション・オフィス機能の整備に係る検討	入試広報部 各学部学科 広報室 (学長室) (学長室IRセンター)	副学長(教学) 副学長(経営・研究推進)
	20	・高大接続事業計画の立案と実行 ※関連：連番13・19・26	・高大接続プログラムを通じて高校生の学習意欲やキャリア形成支援に活かし、本学の教育資源の価値を浸透させる	・高校の教育課題・需要に対応した高大接続プログラムの開発 ※連携高校を定め試行的に実施し効果検証を翌年に活かす	入試広報部 (高大接続企画・運営委員会) 各学部学科・大学院各研究科 地域連携・SDGs推進センター 生涯学習センター 他各研究所・センター 学務部	副学長(教学・情報教育推進) 副学長(経営・研究推進)	

大項目 (学園共通目標)	中期 連番	中項目＝中期計画の実行項目（全32項目）	到達目標 (目指す状態)	2025年度計画	担当組織（関係組織） ※筆頭：事務主管部署	実施責任者/補佐
(5) 学生支援の充実	21	・学生に寄り添った学生支援の充実 ※主に学生生活支援 ※関連：連番17	・学生の需要を踏まえたうえで効果的な支援が行き届いている状態	・学生支援の対応における学内関係組織の役割・連携（情報共有含む）のあり方の明確化	学務部(学生) インクルーシブ教育研究センター 保健センター 各学部学科（アドバイザー） 入試広報部 施設企画管理部	副学長(教学・情報教育推進) /学務部長 /インクルーシブ教育研究センター長
	22	・修学支援制度の整備 ※主に経済支援を指す 出典：文科省「修学援助制度の概要」 ※関連：連番25	・学生ができるだけ学修に集中できる、または活動の効果的な支援につながるような就学支援制度が整備されている	・本学独自の奨学金の現状把握と効果的なあり方を目指した整理	学務部(学生) 総務部(財務) 入試広報部 (国際交流センター) (同窓会)	副学長(教学・情報教育推進) 副学長(経営・研究推進) /学務部長
	23	・キャリア形成・就職支援の充実 ※関連：連番3・14	・就職をゴールとせず、その後も含めたキャリア全体を意識した大学生活（学修/その他）を送れるような環境が整い、それに学生が成果を感じている状態	・学生へのキャリア支援に係る各種取組の体系化と働きかけの強化	キャリアサポートセンター 各学部学科 地域連携・SDGs推進センター 産学連携センター 学務部（教務/学生） (全学共通科目委員会) 教職課程センター インクルーシブ教育研究センター 国際交流センター (学長室IRセンター)	副学長(教学・情報教育推進)
	24	・課外活動の活性化に向けた計画立案と実行 ※関連：連番14・17・23	・学生が主体性を発揮しながら、キャリア形成や充実した学生生活に資する課外活動に意欲的に参加している	・課外活動の活性化に向けた活動状況の精査と課題整理及び今後の対応（学生の主体性のあり方を含む）検討	学務部(学生) 地域連携・SDGs推進センター 生涯学習センター 教職課程センター 国際交流センター 各学部学科 他各研究所・センター	副学長(教学・情報教育推進) /学務部長

大項目 (学園共通目標)	中期 連番	中項目＝中期計画の実行項目（全32項目）	到達目標 (目指す状態)	2025年度計画	担当組織（関係組織） ※筆頭：事務主管部署	実施責任者/補佐
(6) 財務状況の改善・財務基盤の強化	25	・安定した財政基盤を維持するための財政計画立案・実行 ※関連：連番17・32	・中長期財政計画が策定されており、それに基づいた持続可能な大学経営・運営がなされている状態	・予算管理の実質化に向けた各種取組の検討・実施 ・中長期財政計画の立案するために必要な取組・体制整備	総務部(財務/総務) 学長室 (施設企画管理部) (同窓会) (法人)	副学長(経営・研究推進)
(7) ステークホルダーとのコミュニケーションの促進等による信頼関係の構築	26	・ステークホルダーとの信頼関係構築・維持と価値理解の浸透 ※学内外に対して効果的な情報発信及び必要な説明責任を果たし、「すべてのステークホルダーに対して全方位的に信頼関係を構築する」 ※関連：連番1・7・12～16・19・20	・本学のリベラル・アーツ大学としての学びを見える化し、キリスト教精神に基づいた教育による真の自由人の育成という本学のユニークな教育が、実質的な教育成果とともにステークホルダーに信頼感をもって広く認知されている。 ・シスター来日100年を経て、次の100年に向けて、建学の精神「心を清くし 愛の人であれ」を基盤にしたブランドイメージが広く発信されている。	・ウェブサイト、SNS等のアクセスのアクセス検証 ・一人でも多くのステークホルダーへの認知・理解及び受験生確保につなげるための、学科等の各種取組の発信力強化	広報室 入試広報部 各学部学科・大学院各研究科 キャリアサポートセンター 他各研究所・センター 学務部 学長室 他全組織 (法人)	副学長(経営・研究推進) 副学長(教学・情報教育推進) 副学長(国際交流) /広報室長 /他全組織長
	27	・戦略的なブランドイメージの発信 ※関連：連番1・19	・柔軟かつ躍動感のある学生像を見せることで、総合的な人間力を形成する場があるということが広く認知されている。 ・シスター来日100年を経て、次の100年に向けて、建学の精神「心を清くし 愛の人であれ」を基盤にしたブランドイメージが広く発信されている。	・2023年度後半に制作し、2024年度に発表したブランディングムービー「次のわたしに会いに行く」のイメージをベースにした、学生募集広報を含めた大学広報活動の推進	広報室 入試広報部 各研究所・センター 各学部学科・大学院各研究科 学長室 他全組織 (法人)	副学長(経営・研究推進) 副学長(教学・情報教育推進) 副学長(国際交流) /広報室長 /他全組織長

大項目 (学園共通目標)	中期 連番	中項目＝中期計画の実行項目（全32項目）	到達目標 (目指す状態)	2025年度計画	担当組織（関係組織） ※筆頭：事務主管部署	実施責任者/補佐
(8) 建学の精神、教育理念の実現に 寄与する大学マネジメント力の 強化	28	・大学の理念・目的の実現のための将来を見据えた中期計画その他の諸施策の策定・推進 ※関連：連番1・2	・中期計画が大学運営における諸活動（教学・経営両面）の基盤となっており、本学の建学の精神やビジョンの理解・浸透に大きく寄与している状態 ※成果等を定性・定量評価で確認できている ・次期（第3期:2031年度～）を見据え、社会の変化等に柔軟に対応しながら、中期計画等の諸施策に恒常的・継続的に取り組む体制を整えている	・中期期間及び単年度における評価基準及び中期期間中の工程について具体化 ・小項目に挙げた取組・課題に対する着手率70%以上 ・第2期中期計画の効果的・合理的な進捗管理方法の確立	学長室 総務部(財務/総務) (学長室IRセンター) (法人)	副学長(経営・研究推進) 副学長(教学・情報教育推進) 副学長(国際交流) /全組織長
	29	・社会的要請に応えるための教育組織や業務運営組織の不断の見直し	・本学が社会から支持され続けるため、教育等に係る諸活動が合理的・効果的・組織的に行える教育体制・業務運営体制が整っている状態	・社会情勢や活動の合理化等を踏まえた組織の見直し検討	学長室 総務部(総務/財務) (業務改革会議) (学長室IRセンター) (法人)	副学長(経営・研究推進) 副学長(教学・情報教育推進) 副学長(国際交流)
	30	・組織力向上のための業務改革・改善の推進 ※関連：連番1・7	・教職員個々の努力・成長や成果が組織全体の成果につながられている状態 ・組織力強化の取組の成果が確認できる状態	・業務の効率化・合理化を目的とした学内各種委員会等会議体の見直しに係る取組	学長室 (業務改革会議) 総務部(総務/財務) 情報教育支援センター (学長室IRセンター) (法人)	副学長(経営・研究推進) 副学長(教学・情報教育推進) 副学長(国際交流) /全組織長

大項目 (学園共通目標)	中期 連番	中項目 = 中期計画の実行項目 (全32項目)	到達目標 (目指す状態)	2025年度計画	担当組織 (関係組織) ※筆頭: 事務主管部署	実施責任者/補佐
	31	<p>・教職員の育成、パフォーマンス(専門性)向上のための 仕組・環境作り ※関連: 連番1・5・7・12・25</p>	<p>・(再掲: 連番30) 教職員 個々の努力・成長や成果が組織 全体の成果につながっている状態 ・教職員個々の成果が組織成 果も踏まえ適切に評価され、 さらなる成長・資質向上につ ながる仕組みが構築されてい る状態</p>	<p>・職員人事マネジメント制度の試行的導入及び実質機能化するための各 種課題検討 ・(再掲: 連番5) FD活性化による教育力向上と教育改善状況の共有</p>	<p>総務部(総務/財務) (SD等推進委員会) 学長室 (FD等推進委員会) 学務部 (学長室IRセンター) 他全組織 (法人)</p>	<p>副学長(経営・研 究推進) 副学長(教学・情 報教育推進) 副学長(国際交流) /全組織長</p>
	32	<p>・リスクマネジメント及びコンプライアンスの推 進 ※関連: 連番17・25・30</p>	<p>・これからの社会に必要なリ スクが想定し、それらに対す る体制やガイドライン等が確 立・整備されており、必要に 応じた更新も図られている状 態</p>	<p>・現行の危機管理体制やそれに伴う各種取り決めの確認及び必要な更新</p>	<p>総務部 施設企画管理部 学長室 情報教育支援センター 広報室 (法人)</p>	<p>学長 副学長(経営・研 究推進) 副学長(教学・情 報教育推進) 副学長(国際交流) /全組織長</p>